

# 厚生連だより

平成25年9月1日

## 第49号

発行  
 ▲ 上都賀厚生農業協同組合連合会  
 上都賀総合病院  
 老人保健施設かみつが

編集  
 上都賀総合病院年報等編集委員会  
 〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033  
 TEL 0289-64-2161

# かみつが



## 第5回病院祭

## 健康落語

ご挨拶

上都賀厚生農業協同組合連合会  
 代表理事会長 黒本 一郎



厚生連だよりかみつが第四十九号の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

J A並びに関係機関の皆様には、日頃から厚生連の医療・保健・福祉事業運営にあたりまして、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

上都賀厚生農業協同組合連合会（略称はJ Aかみつが厚生連）は、上都賀総合病院、老人保健施設かみつが、在宅介護支援センターかみつが、鹿沼中央地域包括支援センター、訪問看護ステーションひばりの5事業所を運営しております。

上都賀総合病院においては、新病院建設中であり、平成二十五年四月より半分が完成し、形成外科、歯科口腔外科を除く外来診療部門と内科、整形外科の入院診療部門が移転し使用開始致しました。残り半分は平成二十六年九月末完成を目指して工事進行中でございます。

さらに、北側の古い病棟を

壊して、駐車場にする解体・外構工事は平成二十七年五月完成予定です。皆様には、何かとご不便、ご迷惑をおかけいたしますがご理解、ご協力をお願い致します。

医療機器は、がん治療放射線治療装置（リニアック）をはじめ、磁気共鳴断層撮影装置（MR）、コンピュータ断層撮影装置（CT）、RI診断装置、乳房X線撮影装置などを更新整備致します。

医師不足、看護師不足、消費税増税等、非常に厳しい病院経営の状況の下、地域の公的基幹病院として、へき地医療拠点病院、がん診療連携拠点病院、脳卒中地域拠点医療機関、災害拠点病院、1次2次救急病院等の役割を果たし、地域社会の発展に貢献する使命を全うして参ります。

老人保健施設かみつがにおいては、医療も介護も、滞在型も通いのサービスも提供する老健に対する期待は大きく、家庭復帰、在宅生活支援の拠点施設として、地域包括ケアの中心としての老健になるべく活動を進めて参ります。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、挨拶と致します。



病院祭を開催して

第5回病院祭実行委員会

委員長 阿部 稔



当上都賀総合病院は、去る6月2日(日)に、第5回病院祭を開催いたしました。

秋口の土曜日に開催していたのが通例でしたが、新病院を知って頂くために、一期工事終了後のこの日になりました。過去3番目位早いと言われた開催5日前の梅雨入りで前日までぐずついた天気でしたが、お陰様をもちまして、当日は天候にも恵まれ約900名の地域の皆様にご来場いただき、盛会のうち無事執り行うことができました。

今回の病院祭の特徴としては、新旧病棟が混在している中での開催であり、新病院の横で取り壊し中の旧病院も見られることでした。また、毎回行っている、体験コーナーや展示コーナー、キッズコーナー、メタボリックシンドローム簡易検

査のほかに、今回の目玉である探検ツアーや、天使のささやきといわれる白鷗大ハンドベル部の演奏会など、多くのアトラクションを用意しました。

その中でも糖尿病フェアでは、500名の来場者と250名の血糖測定者が、またメタボリックシンドローム簡易検査では、200名の来場者があり、地域の皆様の健康への関心の高さがわかりました。目玉でもあった新病院の各施設・病棟を回る探検ツアーは、人数の都合で120名の参加でしたが、来場者へのアンケートで4割弱の方が新病院建築後初めての来院ということもあり、地域への発信の良い機会となったと思います。

またアンケート内容も「毎回来楽しく来ています」「探検ツアーなどで、普段見られない場所を見学できた」「いろいろな検査などをしてくれて良かった」「身体の関心を向上する上で為になった」「内臓に脂肪がついていることが分かって良かった運動して痩せようと思う」「新病院になつて力が入っていて、今まで以上に中身があった」等の意見が聞かれました。

今回の病院祭を通じ地域の皆様に当院を身近に感じていただき、何よりも地域に向かつて病院が病気になった時だけ行くものでは無い事を発信できたことは、成果だと思えます。これからも県西地区の地域医療の担い手として役員一体となつて励んでいく所存であり、今後ともご指導の程心からお願い申し上げます。

今回病院祭実行委員長という貴重な体験をさせて頂いた病院関係者の方々及び、協力頂いた職員の方々にお礼を申し上げます。



「第4回外科医体験セミナー」@上都賀総合病院を開催しました

今年も中学生の外科医体験の夏が来ました。外科医という仕事に興味をもっていただき、将来の地域医療を担う人材の育成に少しでも貢献したいとの思いで、8月3日(土)に「第4回外科医体験セミナー」を開催しました。鹿沼市、日光市から公募により参加いただいた12名の中学生が実際の手洗い体験や普段入ることの出来ない手術室の中で、内視鏡手術体験、自動縫合器体験、ブタの骨のプレート固定・除去体験、縫合糸の結紮体験、挿管体験等に挑戦

ブタの骨のプレート固定・除去体験



縫合糸の結紮体験



内視鏡手術体験



体験前集合写真

「不安と緊張でいっぱいでしたが、参加してみると先生方の優しい指導や分かりやすい説明のおかげで、だんだんと緊張がほぐれていきました。」  
「医療関係の仕事を目指している私にとってとてもいい経験になりました。後輩たちにもこのセミナーをすすめてみようと思います。」  
などの感想が寄せられました。

新病院一部開院のお知らせ

この度、JA組合員・地域住民の方々の格別のご高配を賜りまして、一期工事が完成しました。平成25年4月23日より診療を開始しました新病院の一部をご紹介します。現在、平成27年の全体開院を目指し二期工事を開始しております。患者さまをはじめ来院される皆様に引き続き大変ご迷惑をおかけしておりますが、細心の配慮を行いながら建設を進めて参ります。何卒ご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。



正面玄関



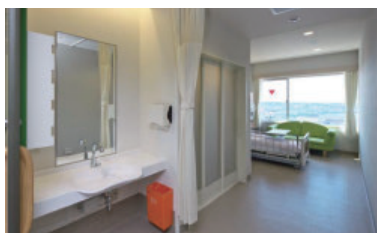
待合ホール



スタッフステーション



病室 (4床室)



病室 (個室)



病棟ダイルム

－基本理念－

－地域社会への貢献－

私たちは、地域住民の総合病院として保健・医療・福祉活動を介して、地域社会の発展に貢献します。

－基本方針－

- 一、患者さんの立場を尊重し、倫理・精神面へ配慮します。
- 一、安全な医療を確保し、患者さんに信頼される医療を行います。
- 一、常に、医療の質の向上に努めます。
- 一、患者さんと、より良いパートナーシップを築きます。
- 一、地域の基幹病院として、地域社会や医療機関と連携し、住民の健康増進に努めます。

－患者さんの権利と責任－

- 一、安全で適切な医療を公平に受ける権利
- 一、個人の人権が尊重され、プライバシーを保たれる権利
- 一、病気・検査・治療・見直しなどについて、説明を受ける権利
- 一、治療法の選択を尊重される権利
- 一、私たちと一緒に病気を治すことに協力していただくこと
- 一、患者さんの療養環境を守るため、病院の諸規則や社会的ルールを守っていただくこと



院内・敷地内は禁煙となっております。



職場紹介

看護部 外来看護課

上都賀総合病院は二次救急医療機関の指定をうけ、救急の患者様の受け入れ態勢を整えています。外来患者数は一日平均741人、救急センターの1日平均受診患者数は162人です。外来は、13診療科の他、外来化学療法室、放射線科、救急センターが含まれ、外来のスタッフは54名(常勤22名、パート看護師32名)で構成されています。今年4月に新病院に移転し、新しい外来システムとなりました。そのため私たちは、患者・家族の皆様が戸惑わないように、速やかな外来受診ができるようわかりやすい対応を心がけています。新しいシステムになってからの受診に慣れない患者様もいらっしゃると思いますが、分からないこと、思いがけず、分らないこと、声がかけて下さい。また、地域の中核病院として患者様が安心して在宅療養が送れるよう地域医療機関や福祉との連携も図っております。

今後も外来スタッフ一同、明るく丁寧なサービスを患者・家族の皆様へ提供していきます。



護の実践に努めていきたいと思えます。

一般外来診療表

Table with 3 columns: 診療科目, 受付時間, 備考. Lists various medical departments and their operating hours.

専門外来診療表

Table with 4 columns: 診療内容, 担当診療科, 曜日, 受付時間. Lists specialized medical services and their schedules.

医師・看護師(保健師・助産師・准看護師)奨学生募集

あなたの「学びたい」をサポートします。当院には、医学生・看護学生のみなさんの勉学を支えるための奨学金制度があります。奨学金の返済については、卒業後当院にて医師・看護師(貸与対象職種)として貸与期間に応じた期間を勤務していただいた場合、免除となります。奨学金制度に興味・関心がある方は、随時ご相談に応じますので、下記までお気軽にお問合せ下さい。

〒322-8550 鹿沼市下田町1-1033
かみつが厚生連 上都賀総合病院
担当：総務課(2502)
TEL0289-64-2161 FAX0289-64-2468
E-mail: soumu@kamituga-hp.or.jp URL: http://www.kamituga-hp.or.jp

当院患者支援センターでは医療ソーシャルワーカー(社会福祉士・精神保健福祉士)が医療・福祉・介護に関するご相談をお受けしています。相談料はかかりませんのでお気軽にご相談下さい。

編集後記

残暑厳しい折、組合員の皆様はお元気ででしょうか。当院では現在、新病院の二期工事が順調に進んでいますが、当院ご利用の皆様にはご迷惑をおかけしています。四月二十三日より、外来部門や半分の病棟が新病院へ移転しました。体制が変わり、新しいスタート当初は現場の混乱も見られましたが、段々と改善してきました。「新しい酒は新しい革袋に盛れ」ということわざがあります。われわれは、医療の原点に立ち返り、新しい器(病院)で、時代と地域に即した新しい医療に取り組みしなければならぬと考えています。当広報誌で、これらの思いを組合の皆様へお届け出来るように努めていきます。(衛藤)

※診療上の都合により変更になる場合がありますので、必ずご確認の上ご来院下さい。